

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.9
2011.4.1

◆農民連救援物資搬送

3月27日、農民連はトラックをチャーターし宮古、陸前高田、大船渡に救援物資を届けました。この配送には新婦人、母親大会連絡会、消団連も同行しました。

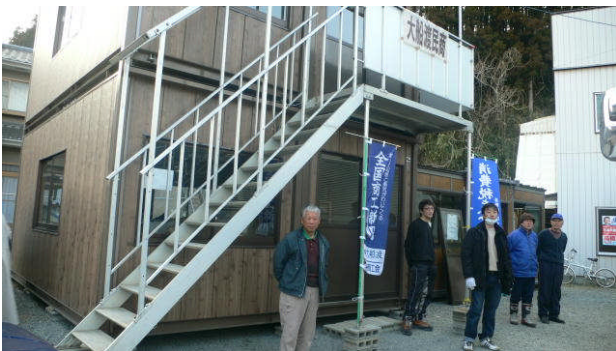
大船渡では大船渡民商の敷地にコンテナで地域センターが完成していました。



宮古民商に物資を届ける



陸前高田市中里元市長宅のセンターに搬送



大船渡民商センターが完成

◆全労連から電動自転車

全労連から電動自転車4台などが届けられました。

◆全労連より義援金を県に

3月31日、全労連・いわて労連は、全国から寄せられた義援金の中から一次分として200万円を岩手県に手渡しました。全労連・根本副議長が齋藤淳夫県商工労働観光部長に渡し、鈴木議長は「多数の仲間も亡くなっている。県の要請があれば、できる限り応えていきたい」と述べました。



200万円を手渡す

◆農協労組物資搬送

3月28日、農協労組は釜石の旧農協甲子支所に書記局分会からの支援物資（自家用車、男性衣類、タオル・ラップなど生活用品、長靴・作業着、途中で購入の野菜）を搬送。この日ここでは、29日の営業をめざしての準備と被災状況調査などを行っていました。「労働組合が救援活動をしているとは知らなかった」と話し、県内や全国の仲間への要望として「(支援物資については)自宅やアパートが全壊の仲間はゼロからの出発なので何とは言わない、何でも必要です」「復旧・復興にむけ車はかかせない」と言っていました。また、釜石では「市の施設には物資がかなり届いているが細部に行き渡らない」「避難所では体温計、市販かぜ薬が足りない」「味噌、梅干、電池が欲しい。みんな梅干を食べたがっている」という話を聞きました。